

事務事業チェックシート

事務事業No 321 事業名 動物保護管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		狂犬病予防費	
	大事業		狂犬病予防事業	
事項		動物保護管理事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	2	人と動物が共生しやすいまちづくり

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	藪内 益郎 (488-5114)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）		事業内容					
事業概要	市民に対し、犬猫による人の生命、身体又は財産に対する危害を防止すると共に、犬猫を保護し適切な飼育を推進する。		<ul style="list-style-type: none"> ・係留義務に違反した飼い犬の収容 ・犬猫の引取り ・負傷した犬猫の保護・治療 ・収容した犬猫の飼育管理・返還・処分・譲渡 ・犬猫に関する苦情・相談の処理（適正な飼育の指導や取り締まり等） ・動物取扱業の登録等 ・特定動物の飼養又は保管の許可等 ・学校における動物愛護教室（命の大切さ等を教育） 				
	実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
負傷犬猫保護数（89） 猫引取り数（554） 保護した犬：176頭 飼い主から引き取った犬：36頭 返還した犬：55頭 譲渡した犬：61頭 小学校への出前授業（わうくらす）：65回		負傷犬猫保護数（102） 猫引取り数（592） 保護した犬：155頭 飼い主から引き取った犬：12頭 返還した犬：48頭 譲渡した犬：26頭 校への出前授業（わうくらす）：56回	負傷犬猫保護数（188） 猫引取り数（454） 保護した犬：196頭 飼い主から引き取った犬：21頭 返還した犬：53頭 譲渡した犬：73頭 小学校への出前授業（わうくらす）：56回				

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,164	5,418	6,015	2,697	3,001	2,963	7,665		3,001	
伸び率 (%)	-	-	-2.4%		-50.1%		155.4%		-60.8%	
人件費	常勤職員	7,199	5,429	5,429	5,825	5,820	5,237	5,237	5,237	
	非常勤職員	2,456	3,280	3,280	2,812	3,421	3,224	3,224	3,224	
	小計	9,655	8,709	8,709	8,637	9,241	8,461	8,461	8,461	
国庫支出金										
県支出金	5	5		5		5		5		
市債							3,800			
その他	1,292	545	1,001	553	741	577	751		741	
一般財源（税等）	4,867	4,868	5,014	2,363	2,260	2,381	3,109		2,260	
所要人数	常勤職員	0.97	0.73	0.73	0.78	0.78	0.69	0.69	0.69	
	非常勤職員	1.24	1.67	1.67	1.33	1.75	1.57	1.57	1.57	
主な予算内訳	管理委託料（1,257千円） 飼料費（499千円） 等									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	飼主からの犬及びねこの引取り数	年度目標値				85	80	75	70	65
		実績値				54	38	32		
	単位 頭（匹）	全体目標値	65	全体目標達成度	120.3%	年度別達成度	157.4%	210.5%	234.4%	
		小学校への出前事業（わうくらす）回数				年度目標値	48	53	58	63
単位 回	全体目標値	65	全体目標達成度	86.2%	年度別達成度	135.4%	105.7%	96.6%		
	所有者不明の猫引取り数				年度目標値	500	480	460	440	420
成果指標	単位 匹	全体目標値	420	全体目標達成度	75.8%	年度別達成度	90.3%	84.8%	103.8%	
		保護（負傷犬を除く）及び引き取られた犬の頭数				年度目標値	150	150	150	150
	単位 頭	全体目標値	150	全体目標達成度	70.8%	年度別達成度	70.8%	89.8%	78.9%	
		実績値				212	167	190		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	人と動物が共生できる社会を形成するには、事業の継続が必要である。
「見直し」 「改善」案	譲渡動物を増やすために、飼育期間を延長して譲渡動物を育てます。また、市報やインターネット等のマスメディアを通して譲渡希望者を募ります。